

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	一時・特定保育促進事業(民間保育所)	会計	一般会計	事業No.	168	施策順No.	37-014
		事業種別	政策・その他	予算科目	3-2-5-11-6		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	子育て支援課		
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実			事業期間	開始	2	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	・民間保育所及び保育所に入所していない児童(保護者)。						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		民間保育所数(ヶ所)	14	14	14	15		
		保育所及び幼稚園に入所していない児童数(人) (0歳～5歳児)	3115	2849	2682	2024		
	意図	・保育所に入所していない児童(保護者)の都合により、必要な時に一時的な保育を実施する(保護者の子育て支援)。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	延べ利用児童数(人)	1598	1175	808	1200	717		A
	一時・特定保育利用児童数/一時・特定保育利用希望児童数(%)	100	100	100	100	100	100	
22年度の目標達成度に対する振り返り 【政策的事業のみ評価】	22年度は90人近く実績が減少した。利用希望に対して可能な限り園が柔軟に対応し、一時預りの保育サービスを保持している。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>この補助事業は、家庭で保育を行う保護者等の育児疲れ解消、冠婚葬祭、急病や断続的勤務・短時間勤務等の勤務形態の多様化に伴う一時的な保育に対する需要に対応するため、保育所が自主的に一時的な保育に取り組む場合に補助を行ない、児童の福祉の増進を図ることを目的としている。</li> <li>保育所は、通常、入所要件を満たした場合に措置されるが、要件を満たしていても上記の理由などにより、一定の金額で一時的に保育所を利用できる。これにより、保護者の育児支援や児童の福祉増進が図られる。</li> <li>平成17年度から、私立保育園全園で一時預かり事業を開始した。</li> <li>平成18年度から、高松保育園で特定保育事業を開始する。特定保育は一時預かり事業と入所の中間的な事業で、制度の狭間を埋めるものである。また、一時預かり・特定保育とも年額払いへ切り替えられた。</li> <li>平成22年度より、一時預かりは次世代育成支援対策交付金に移行。年額払いは廃止され、件数払いのみになった。</li> </ul>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時預かりの利用件数により一時預かり担当保育士の人件費を補助。(一時預かりは民間保育所全園での実施)</li> <li>特定保育の利用件数により特定保育担当保育士の人件費を補助。(特定保育は民間保育所1園での実施)</li> </ul>	一時預かり利用延べ件数	717件
23年度実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時預かりの利用件数により一時預かり担当保育士の人件費を補助。(一時預かりは民間保育所全園での実施)</li> <li>年間利用人数25人以上・・・5園 1800円*200人+900円*483人*1/2=397350円</li> <li>特定保育の利用件数により特定保育担当保育士の人件費を補助。(特定保育は民間保育所1園での実施) 年額 270,000円</li> </ul>	一時預かり利用延べ件数	4時間未満 350件 4時間以上 290件

3 事業コスト

事業費	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (国)次世代育成支援対策交付金(1/2) (県)特定保育事業補助金(国1/3・県1/3) H22実績なし	
	特定財源	国庫支出金	675	423		397
		県支出金	180			180
		起債				
		その他				
一般財源		2,179	423	584		
計(A)		3,034	846	1,161		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			846			

4 事業に対する市民や議会の意見

・一時預かりの利便性の向上を求める声がある。
------------------------

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子どもを育てやすい社会環境の充実	施策の成果指標又はムトス指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	一時的に保育所を利用できる本事業は、用事や育児疲れ等の理由で一時的に保育サービスを要する家庭では重宝されている。また、他市町村や他県からの利用者もあり、住民票を移さずして短期間だけ保育サービスを使用したい家庭の子育てにも寄与している。特定保育を行っている高松保育園は毎年4月の時点で定員に達しており、利用実績はない。		
	後期に向けた課題	年々一時預かりの利用者は減少し、保育所に入所する児童が増加している。利用実績は減少傾向であっても、一時預かりは保育所に入所していない子育て家庭にとっては必要な保育サービスなので、継続して行う必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	利用人数に応じて補助金を年額で交付していたが、利用者の減少に伴い補助金の交付方法を件数払い移行することで全園平等に補助されるようになり、一時預かり実施園が一園でも増えることで市内どの地区でも同じ保育サービスが保たれるよう努めている。		
	後期に向けた課題	民間保育所において一時預かりの実施は園の意向で決定され、実施をしない園もあるため全ての地区で一時預かりが利用できるとは限らない状況にあるので、その場合の対策を講じる必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	事業費は全て補助金であり、削減すべきコストはない。		
	後期に向けた課題	事業費は全て補助金であり、削減すべきコストはない。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切 でしたか	4年間の振り返り	飯田市ファミリーサポートセンターの利用料に合わせて料金設定をしており、飯田市の一時預かり利用料は実施している他市町村と比較すると高めである。市は補助金を交付しており、関与は適切である。		
	後期に向けた課題	上記にある通り、飯田市内保育所の一時預かり利用料は他市町村と比較すると高い。今後類似したサービスとの兼ね合いを考慮し、利用料を見直す必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を 発揮するために、行政はどのような働き かけをしましたか、又は、配慮して きましたか	4年間の振り返り	事業主体は市であり、一時預かりにかかる人件費を補助することで保育所に在籍していない児童の突発的な保育に対応し、子育てを支援する役割を持つ。保育所案内冊子、つどいの広場案内冊子、月刊いっだに利用方法を掲載し、情報を発信している。		
	後期に向けた課題	引き続き市が事業主体として実施し、一時預かりの保育サービスを支援することで保育所に在籍していない児童の保育サービスを確保する必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	一時預かりは減免措置がなく、複数回利用するよりも保育所に入所して月額保育料を支払うほうが経済的な負担が少ない場合が多く、年々一時預かりの利用が減少し、入所児童が増加している。しかし、核家族が進む現代において家庭で子育てをしている保護者が単発で保育サービスを受けられる制度があることは安心であり、子育てしやすい環境であるといえる。		
	後期に向けた課題	利用者数が減少傾向にあっても、保育要件がなく幼稚園入園年齢に達していない児童のいる家庭、短期間飯田市内に居住する子育て世代の家庭が安心して一時的に利用できる保育の場を確保していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------